

## 小学校家庭教育学級・MCR 学級合同開級式及び家庭教育講演会報告

### 1 目 的

小学校家庭教育学級・MCR 学級合同開級式及び家庭教育講演会を開催することで、家庭教育学級生に家庭教育の重要性について再認識させるとともに、1年間の小学校家庭教育学級に対する学習意欲を高める。

### 2 日程・会場・参加者

日 程 令和7年5月29日(木)10:00~12:00(受付9:30~ )  
会 場 松戸市民劇場ホール  
参加者 43名

### 3 内 容

#### ○小学校家庭教育学級・MCR 学級合同開級式

主催者挨拶 松戸市教育委員会 教育長 波田 寿一 氏  
来賓祝辞 松戸市校長会会長 熊澤 光洋 氏

#### ○家庭教育講演会

演 題 「子どもの未来を育む教育の力」  
～家庭・地域・学校が手をたずさえて～  
講 師 松戸市教育委員会 教育長 波田 寿一 氏



### 4 概 要

〈小学校家庭教育学級生・MCR 学級生 29 名、MCR 中学校学級生6名、その他 8 名、計 43名〉  
合同開級式では、教育長・校長会長の挨拶で、日ごろの学級運営に対しての労いの言葉とともに、学習会や講座を通して家庭の教育力が向上していくことへ期待などについて話されました。

松戸市教育委員会教育長 波田寿一氏の講演会は、「庭のシャベルが一日ぬれて～きっと明日はいい天気、きっと明日はいい天気♪」(にじ)と教育長の歌声でスタートしました。学校教育の現状は、あいさつ、礼儀正しさ、決まりを守る、思いやりの心を育てるといった日本で昔から行われてきた教育の良さを再確認しつつも、多様性を受け入れ、可能性を追求する新たな教育観をもつ必要があること。一方で家庭は、すべての教育の出発点であり、家族の触れ合いを通して基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操など子どもが身に付けていくものはたくさんあり、家庭教育の果たす役割が大きいこと。また、家庭が本来の役割を果たしていくためには、子育てを楽しむ心のゆとりが必要であること。保護者が安心して子どもを育てられるように、地域の教育力向上も含め、行政としても支えていきたいという強い思いを語られました。

これからの社会で生きていく子どもたちのために、家庭、地域、学校が手をたずさえて、子どもたちを育てるために何が重要で、どのような資質・能力を身に付ければよいか、子どもの教育に対する責任を自覚し、みんなで考えていきたいと思いますというメッセージも投げかけられました。そして最後に、日野原重明医師が言われた「命は、あなたが使える時間のこと」という言葉を引用し、自分のため、人のために時間を使うことで、人生が豊かになる、心にゆとりをもって楽しんで子育てをしてほしいと願いを語られました。会場に参加した方々が、互いに話をする時間を設けたり、教育長自身も降壇して、話し合いの様子を近くで聞かれたりと、終始和やかな雰囲気が進められました。

### 5 参加者の主な感想

- ・親の自分が笑顔でいたいと思いました。そのために、自分で時間の使い方を工夫してゆとりも作りたいと思います。
- ・一方的に講演を聞くだけでなく、一緒に考えながらの学び合いの時間で、とても良かったです。
- ・今日から、また頑張ろう！気持ちに余裕がなく、笑顔を忘れていたかもしれません。毎日、子どもに笑顔の贈り物ができるように心がけたいと思います。
- ・日々めまぐるしく進んでいる中で、毎日が子どもの未来につながっているのだと改めて感じました。